

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	令和元年 6月27日(木) 午後7時30分～午後9時5分
会場	幸生ふれあい友遊館
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)	
<p>①空き家対策として市の補助はどのようなものがあるか。また、建物がある場合と更地の場合とでは固定資産税の価値が違う。幸生地区においては、建物があるのとないのとどちらがいいのかお聞きしたい。</p> <p>→空き家の解体については市の補助制度があり、建設管理課に問い合わせ相談していただきたいと思います。</p> <p>固定資産税の建物が無ければ固定資産税が上がるから建物の解体が進まないという問題については、市としても支援制度の充実など取り組みを進め、危険な建物については最終的に行政が代執行できるよう国県に要望していきたい。また、今年空き家の再調査することにしており、正確な空き家の戸数、状況を把握して、条件が良い空き家に移り住んでもらえるような支援にも取り組んでまいります。</p>	
<p>②平成16年と17年に幸生田代線の側溝工事(シバヤの堰のところ)、熊野川わたってのカーブのところのU字溝設置の土木施設要望を建設管理課に出しているが、事業化されていない。なぜ、こんなに時間がかかるのかお聞きしたい。</p> <p>→市では公共工事をするにあたり、予算の関係で緊急度や影響度を考慮し優先順位を決定しており、要望順にならない場合があります。</p> <p>(担当課回答)</p> <p>市では各町会から提出される土木施設の整備要望につきまして、整備の優先順位基準を設け、その基準をもとに優先順位を付けて優先順位の高い要望から整備に取り組んでおります。お尋ねの幸生田代線の側溝整備及び熊野川付近のカーブ付近のU字溝整備につきましては、来年度整備に入る予定としております。</p>	
<p>③幸生田代線ですが、シバヤ橋から田代へ向かう三差路までの約1.2km、毎年奉仕活動として側溝上げやら狩り払いをやっている。12～3年前は市から業</p>	

者が派遣されてさくらんぼの最盛期になる前に道路の下刈り、側溝の草上げをやっていたが、今は全然されていない。これは予算の関係か。

→ お金がないからやらないわけではなく、予算がついていないからやらないと思います。今年度か来年度になるかわかりませんが、そこは整備をしていくように対応したいと思います。

(担当課回答)

市事業として取り組んでまいります。

④葉山十分一峠登山コース駐車場までの林道5km 区間があるが、平成28年度に管理者から林道としての活用がないことから今後管理できない旨の連絡があった。今後従来通りの営林署等が管理し通用できるよう対応してほしい。

→担当課に私の方からも話しておきますが、行政の方で対応するように、県の方にも話してみたいと思います。

(担当課回答)

営林署と協議した結果では、林野庁（営林署）としての事業が無いため現道を整備する予定はないとの回答でした。市が管理関与する併用道路につきましては、その整備管理費用のほとんどが市負担となるため整備することが困難で、また整備が完了するまで供用を停止することになります。

当該林道を使用するに際し町会や学校での行事ごとに使用許可を取っていただくようお願いいたします

⑤中山間地域を守っていくために、15年ぐらい前ですが地域で婚活事業をやろうと取り組んできた。高齢化、少子化と人口減になって地区に残る長男、長女に良縁がない状況で何かこの地域を守るための良いアドバイスがないかお聞きしたい。

→特効薬というのは中々ないが、交流人口を増やしていく。その中には都会の生活でなくて中山間地の暮らしに憧れる若い人もいる。そういう人たちにアピールする取り組みをしていかななくてはならないと思う。婚活の話では、コーディネーターの人が頑張ってくれていますが、なかなか難しい。1年に1組とか2組で。ボランティア団体が婚活パーティーをする際には市も補助し活動を支援しているが、それでもうまくいくことが少ない。難しいですが何もしないというわけにはいかないので手立てを講じながら、良い方法を模索し取り組んでいるところです。

⑥姉妹都市や日本に憧れる若い外国人から日本の農村体験をしてもらうような

施策をしてもらえれば交流人口も増えるのではないか。

→海外における寒河江の姉妹都市は、大韓民国の安東市とトルコのギレスン市ですが、ほかにも寒河江のロータリーが台湾のある自治体のロータリーと何十年と姉妹ロータリーになっていて毎年交流している縁で、その自治体の町長さんから本市との姉妹都市についてお話をいただいている。ロータリー以外の交流がまだまだ進んでいないが市民同士が交流をしていくことによって若い人の交流に繋がるのではないかと思います。

⑦災害時に幸生小学校が最終避難所となっていますが、夜間等の学校管理者がいない場合に、学校に避難するために鍵を解錠する必要があります。区に鍵置いてほしい。

→いざという時に避難できなければ困る。実践できるような取り組みをさせます。

(担当課回答)

幸生の場合は、土砂崩れ等で道路が寸断される可能性があり、地元の避難所となっている幸生小学校の鍵の貸与が必要と考えます。また、避難所の解放と併せて、発電機や毛布等防災用品も必要となりますので、学校の鍵と防災倉庫の鍵を区長等へお預けし、万が一の際は対応をお願いします。鍵の開け方や使用方法については、後日、学校教育課と危機管理室で区長等へご説明をします。

⑧先ほどの空き家の解体の問題で補助を受けるためには、登記事項証明者所有者と記録されていない申請できない。スムーズに登記がかかっていない場合もあり要件を緩和できないか。

→あまり柔軟にするのも問題があると思うので、制度の運用についてできるだけスムーズに進められるように担当課に話をしてみたいです。

(担当課回答)

空家解体等に対する補助につきまして、家屋の保存登記に所有者が明記されている場合は、当該家屋の権利所有者が明確にされていることから所有者が申請し、申請あった所有者に対し補助を交付することとしております。

⑨免許の自主返納について、具体的にどのような支援があるのか。

→去年から取り組んでいるが、返納すると足がなくなるわけなので、タクシー券とかデマンド券とか、2万円分を助成する制度になっています。足の確保を公共的な支援でしていかないと大変な時代だと考えておりま

すので、1回きりのこの制度をどうするか今後検討してきます。

- ⑩幸生でもデマンドタクシーを利用させてもらっている方がいますが、運転手さんの悪い対応の話聞くことがある。市からも運転手さんへ指導してもらえないか。

→そういったことがあるか確認し市で話をしてみたい。

- ⑪防災のサイレンが学校のところにあるが、サイレンが聞こえない。万が一の時を考えて、サイレンは部落全体に聞こえるような配置にしていきたい。

→一戸一戸に聞こえるように対応してみたい。個別にどこの世帯だとおっしゃっていただくと調査します。

- ⑫ラジオですらはっきり入らないところもあるので、他の自治体のように軒下にアンテナを付けて大本から直接配線して聞こえるようにしてほしい。

→地域の皆さんの安全と財産がかかっており、早急に対応します。

- ⑬見えないところに廃棄物がある。また、焼却炉をもってきて燃やしているところもある。市の申請、許可はどうなっているのか。

→そういうのは基本的に許可していないと思う。そういうものを見かけた場合などは、市に連絡をしていただければ撤去するあるいは原因者が分かれば原因者に対応してもらおうということになります。

- ⑭廃棄物の処理については、基本的に市の条例で許可申請しなければならないことになっているのか。

→市か県に許可を取るようになっていました。

- ⑮前に大堰で業者が廃棄物の処理を行っていた。その際、許可内容や処理事業者が示された許可看板が見えないようになっていた。看板等を住民その他の人に目につくようはっきり明示するように指導してほしい。

→それは市で見させてもらって、確認します。(区長と担当課で確認済み)

- ⑯除雪の際に押雪する道路沿いの田んぼの土手が崩れてしまう。シーズン終了後に見回ってもらい修繕等の対応をお願いしたい。

→委託している市の方から業者の方に申しあげておきます。